

事業所名

放課後等デイサービスコモンハウス

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

1月

30日

法人（事業所）理念	Common社員であることに責任と誇りを持ちご利用者に信頼される質の高いサービスを目指す。				
支援方針	家族や先生とは違った立場から子どもとの関係性を築き、一人一人の不安に寄り添います。				
営業時間	9時	00分	17時	30分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	迎えの際に体調不良の有無を確認。身体のみならず、精神的な変化に関しても保護者や学校関係者から確認をとっている。比較的自由に過ごしてもらう時間が多いが、毎日のプログラム活動の時間や個別課題に取り組む時間などは固定化している。			
	運動・感覚	毎週木曜日には専門のトレーナーによる体操教室を開催。柔軟や体幹・筋力トレーニングなどに取り組んでいる。公園のプログラムでは球技を使った運動やバドミントンなど道具を使った運動にも取り組めるように環境を整え実施している。			
	認知・行動	毎日プログラムは変えており、日々の変化が感じられるようにしている。集団でのプログラムでは各自での役割を割り当て取り組んでいる。			
	言語コミュニケーション	各児童にあったコミュニケーションの方法（手話やジェスチャー）や話しやすい環境作りをおこない、児童の考えを聞き出しやすい状況を作っている。直接の会話が難しい児童に関しては職員が代弁機能の役割をおこなっている。遊びを通じて適切な言葉を学んでもらう。			
	人間関係社会性	買い物のプログラムでは実際に外出し支払いの仕方や店員とのやりとりなど実践を交えて社会のルールを学んでいる。自由時間の中での会話や遊びを通じて、楽しみながら関係性の築き方などを伝えている。			
家族支援	送迎の際に直接当日の様子を報告し、必要に応じてLINEなどのツールを使用し報告している。家族の相談事には傾聴し対応策を考えている。	移行支援	不登校児に関しては毎月の利用状況の報告を行い、情報を共有している。担任の先生に会える場合は学校での様子やデイサービスでの様子を報告しあい共有している。		
地域支援・地域連携	高齢者のデイサービスと年間行事等で交流する機会を作っている。近隣の公園では地域の児童と一緒に遊び交流をはかっている。	職員の質の向上	毎月の法人内研修の実施と発達障害の研修も外部講師を招いて実施している。西区開催の虐待研修などにも参加し職員の質の向上に努めている。		
主な行事等	夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど季節を感じられるプログラム活動を企画し実施している。長期休業中は遠方への外出を行い、普段とは違った楽しみをもってもらえるような取り組みを行っている。				